

健康課題の解決に向け、組織的・継続的に健康教育の充実を図りましょう

各学校では、自校の健康課題を基に重点目標を設定し、子供の健やかな体の育成を目指した取組が行われています。

平成27・28年度、藤岡市鬼石地区では、日本学校歯科医会「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の地域指定を受け、地域ぐるみで健康教育を推進しています。藤岡市鬼石地区の家庭・地域と連携した実践を参考にして、自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力の育成を図りましょう。

藤岡市鬼石地区(鬼石中学校・鬼石小学校・鬼石北小学校)の実践

研究主題：「自分の歯・口の健康に関心を持ち、その大切さに気付き、主体的に改善しようとする児童生徒の育成」

実態等の把握・計画の立案

実態を基に目標を設定

子供の歯・口の健康にかかわる実態を把握して学校区の優先すべき課題を明らかにし、学校医の意見や保護者の願い等を取り入れて3校共通の重点目標を設定しました。また、年間通して行う生活習慣チェックの項目を、重点目標に合わせて精選しました。

《具体的な取組》

- ・う歯保有率、歯肉の状態、治療率等を確認
- ・3校共通の生活習慣チェックを実施
- ・学校医、保護者、教職員から聞き取りの実施
- ・3校の養護教諭による重点目標や取組内容の協議

重点目標：自分の口腔内の状態を知り、改善しようとする児童生徒の育成

課題解決に向けた取組

主体的な活動を促す工夫

健康診断の事前・事後の指導を充実させたり、児童会や生徒会の活動に健康に関する内容を取り入れることができないう見直したりして、子供たちの健康への意識を高められるようにしました。

家庭を巻き込む工夫

健康について扱う行事を親子合同で行うなど、保護者がかかわる機会を意図的に設定したり、学校通信・保健便り等で取組を発信したりしました。

《具体的な取組》

	小学校	中学校
目標	1日3回の正しい歯みがきの定着と、治療率の向上に努める。	自分の歯・口の健康に関心を持ち、改善のために実践する生徒の育成に努める。
計画・実践	(日常的な取組)	
	・養護教諭による毎日の給食後の歯みがき指導	・保健委員会による給食後の歯みがき習慣のチェック
	(授業・行事等における取組)	
	・咀嚼判定ガムを用いた咀嚼力の測定 小：学校保健委員会で実施 中：文化祭で実施	
	・児童会・生徒会主体の生活習慣チェック	
	・鬼石中校区 歯・口の健康に関する拡大学校保健委員会の実施	
	・親子歯垢染め出しチェック	
	・歯科健診の実施と事前、事後措置	
	①事前に結果を予想→②歯科健診→③予想と結果を比較→ ④個別ブラッシング指導→⑤結果のファイリング(家庭と共有) ※保健委員が結果をグラフ化し、考察して発表(中学校)	



保護者の声

拡大保健委員会の講演会では、子供と一緒に歯や口の健康についての話を聞くことができ、理解が深まりました。親自身が健康づくりのモデルとなれるように、家族で良い生活習慣を実践したいと思います。

評価・改善

成果と課題を基に計画の見直し

生活習慣チェック及びアンケート等の結果や、子供の実際の様子を基に、成果と課題を明らかにしました。校区全体で取り組むよさを生かし、より効果的に指導できるよう計画を見直しました。

<成果と課題>

- 歯・口の健康に対する意識が高まり、進んで食後の歯みがきに取り組むようになった。
- 小中の連携方法を見直し、取組をさらに充実させる必要がある。

学年ごとの活動のねらいを見直して小中の学習のつながりを明確にしたり、小中の保健行事の実施時期を合わせたりするなど、年間計画を改善した。



中学校の担任の先生の声

歯科健診の結果を予想し、結果と比較した後に個別指導を受ける活動を設定したことで、生徒が自分の健康状態に関心を持ち、生活習慣の改善のために行動できるようになりました。また、小中連携により、歯や口の健康に関する小学校での学習内容を踏まえて指導したので、生活習慣と健康との関係についての深い理解につながりました。